

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2021年5月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第18週(5月3日～)から第21週(～5月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における5月の上位6疾患の合計は25.71で4月の4週間換算値22.72と比べて少し増加した。とはいえ、新型コロナウイルス感染症対策の活動自粛と衛生管理により、日常的感染症はまだまだ少ない。

1位は感染性胃腸炎で13.64(4月1位4週換算値12.76)と横ばいだった。2位はRSウイルス感染症で6.17(同2位4.21)と増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.32(同3位2.66)と減少した。4位は突発性発疹で1.64(同4位1.70)と横ばいだった。5位は咽頭結膜熱で1.15(同5位0.72)、6位は流行性角結膜炎で0.79(同6位0.66)といずれも増加した。

### 〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は図1左に示すように、6月2日には1億7,105万人を、死亡者は356万人を超えた。患者数を国別で見ると、1位米国、2位インド、3位ブラジル、4位フランス、5位トルコ、6位ロシア、7位英国、8位イタリア、9位アルゼンチン、10位ドイツである。患者数が激増していたインドはピーク時の1/3まで減少した。

日本の患者数を図1右に示す。12-1月に増加の勾配が急峻となった(第3波)が、2月-3月と加速が緩んだ。しかし、4月以降は再び急峻な増加となり(第4波)、英国型の変異ウイルス(アルファ株:後述)が急速に拡大し、従来型のウイルス株からアルファ株に置き換わった。第4波は大阪と兵庫、少し遅れてゴールデンウィーク後は、北海道と沖縄で、顕著な感染拡大を起こし、医療逼迫が叫ばれた。GWの人の動き(昨今は「人流」と呼ばれている)で観光地として人気の高い地域に感染が広がった印象があり、高知県も例外でなかったのかもしれない。6月2日時点の国内の感染者は749,130人、死亡者は13,140人である。東京オリ・パラ開催をどうするか議論が熱い。

COVID-19は高齢になるほど死亡率が高い。図2に示すように、60歳以上の死亡率は昨年12月以降プラトーに達しているようである。高齢者施設でクラスター(感染者集団)発生が相次いで、飲食店でのそれをはるかに超えている。図3に年齢層別患者比率を示す。昨夏までは、20~30代の感染者が増加し、高齢者の感染は抑制されていた。しかし、その後は次第に年代ごとの増加率に差がなくなり、高齢感染者増加が目立つようになった。

決定的な抗ウイルス薬が登場していない現状で、この流行を終息に向かわせる方法はワクチンしかない。日本で採用したファイザー社とモデルナ社のワクチンはいずれもmRNAを用いた全く新しい発想のワクチンである。感染予防率95%とされ、不活化ワクチンとしては驚異的な有効性をもつ。医療者に続いて高齢者を対象としたワクチンの接種が進められている。大きな人口を抱えた都市ほど接種の進みは遅いが、徐々に軌道に乗ってきた。いかにワクチンをスピーディに進めるか、そこに叡智と労力が投入されている。

世界保健機関WHOは、世界的に懸念され追跡調査と分析の強化が必要とされる4種類の変異ウイルス株(Variant of Concern: VOC)を認定している。変異株の呼称は機関により異なり、また混乱を招くきらいもあった。そこでWHOは5月31日に、変異株を新たにギリシャ文字による呼称を提唱し、厚労省もこれを採用した。シンプルな名称にすることで、国名で呼ぶことによる偏見や差別を防ぐことを目的としている。

1. 「アルファ株」は、イギリスで確認された、従来VOC202012/01あるいはB.1.1.7系統と呼ばれたウイルスである。アルファ株が日本国内の第4波流行の主たる流行株となっている。
2. 「ベータ株」は南アフリカ保健相が2020/12/18に公表した株501Y.V2である。
3. 「ガンマ株」はブラジルから日本に入国した4人から検出されたP.1(もしくは501Y.V3)である。
4. 「デルタ株」がインドで大流行を起こしたB.1.617である。

今後も変異株の登場は相次ぐと予想され、注意して監視する必要がある。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感染性胃腸炎		2.18	3.92	3.79	3.75	13.64
2	RSウイルス感染症		0.86	1.00	1.82	2.49	6.17
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.39	0.64	0.64	0.65	2.32
4	突発性発疹		0.32	0.42	0.45	0.45	1.64
5	咽頭結膜熱		0.16	0.32	0.29	0.38	1.15
6	流行性角結膜炎		0.15	0.20	0.21	0.23	0.79

## 県内情報

### 1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の5月の上位6疾患の合計は57.70で4月の4週間換算値27.95と比べて大きく増加し、全国よりも多かった。増加の主因は感染性胃腸炎の増加で、県下全域のノロウイルス流行が増加に寄与したところが多い。ヘルパンギーナとRSウイルス感染症も増加した。新型コロナの影響で抑制されていた日常的感染症の流行が久しぶりに目立ってみとめられはじめた。

1位は感染性胃腸炎で46.10（4月1位4週間換算値21.8）と増加し、全国よりも多かった。2位はヘルパンギーナで5.00（同2位1.8）と増加し全国よりも多かった。3位はRSウイルス感染症で2.03（同11位0.18）と増加したが、全国よりも少なかった。4位は突発性発疹で1.67（同2位1.8）と横ばいで全国と同等だった。5位は咽頭結膜熱で1.47（同5位0.86）と増加し、全国よりも多かった。6位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.43（同4位1.17）と増加したが全国よりも少なかった。

### 〈高知県におけるCOVID-19〉

高知県におけるCOVID-19の月別患者数を図4に示す。昨年12月に報告が急増し、511人/月に昇った。その後は1月184人、2月37人、3月33人と減少したが、4月123人、5月は348人と増加傾向で第4波を迎えている。5月17日には県下の1日最多患者数の38人を記録した。図5に12月1日以降の日ごとの公表感染者数と感染経路不明者数を示す。高知県ではアルファ株が大多数を占め、従来株から概ね置き換わった。6月2日時点で感染者は1,520人、死亡は20人である。

12月2日に、県の対応ステージを「注意（黄）」から「警戒（オレンジ）」に、12月9日には「特別警戒（赤）」引き上げた。対策が奏効して患者数が減少したので、1月22日に「警戒（オレンジ）」に、3月4日には「注意（黄）」に引き下げたが、4月5日に「警戒（オレンジ）」に引き上げGWを迎えた。5月24日にはふたたび「特別警戒（赤）」とした。また、高知市と四万十市では、5月26日から6月8日まで、飲食店（宅配、テイクアウトは除く）、旅館・ホテル（飲食を提供する宴会場に限り）、カラオケボックス、ライブハウスに対して、20:00までの時短営業を要請した。この要請は高知市では6月20日まで延長されることになった。第4波の収束のためにも、県下でのワクチン接種が速やかにスムーズに進むことが切に望まれる。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感染性胃腸炎		6.82	15.39	11.32	12.57	46.10
2	ヘルパンギーナ		0.21	0.79	1.39	2.61	5.00
3	RSウイルス感染症		0.11	0.14	0.39	1.39	2.03
4	突発性発疹		0.39	0.50	0.46	0.32	1.67
5	咽頭結膜熱		0.21	0.36	0.61	0.29	1.47
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.25	0.64	0.18	0.36	1.43

図1,2021年6月2日時点でのCOVID-19(厚生労働省HPから)

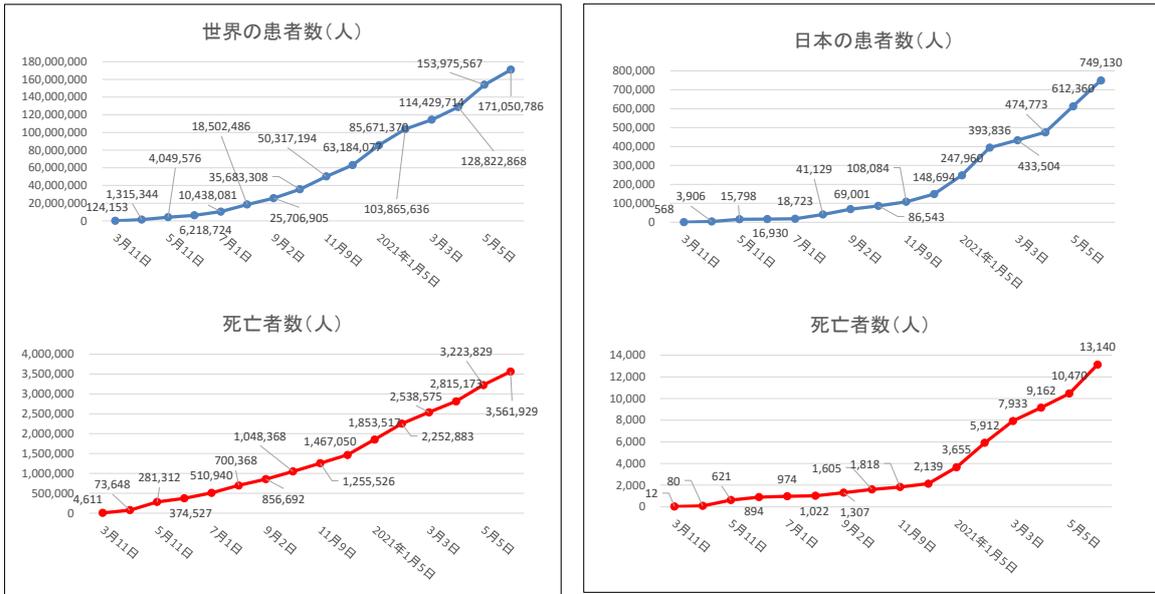


図2.高齢者におけるCOVID-19死亡率の経時的変化

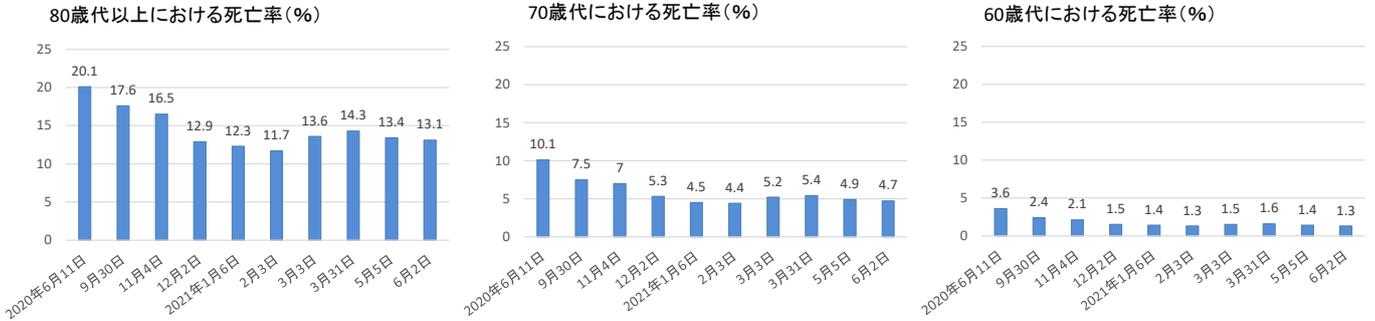


図3, 経時的な年齢層別感染者数

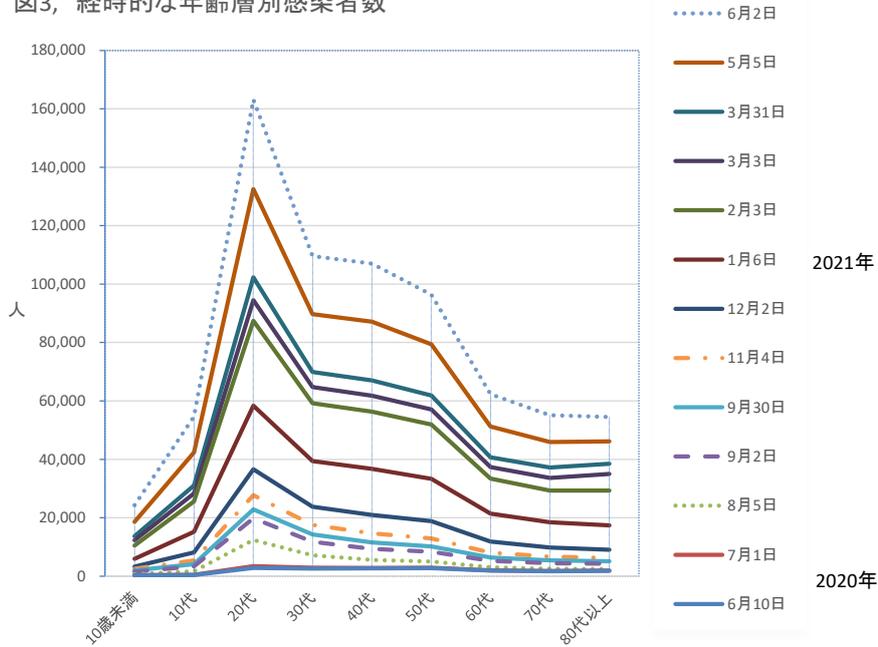


図4.高知県のCOVID-19月別患者数(人)  
～2021年6月2日

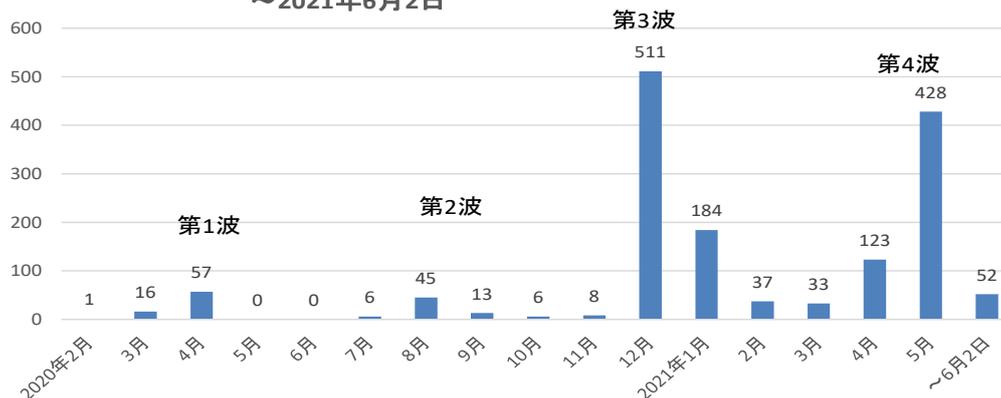
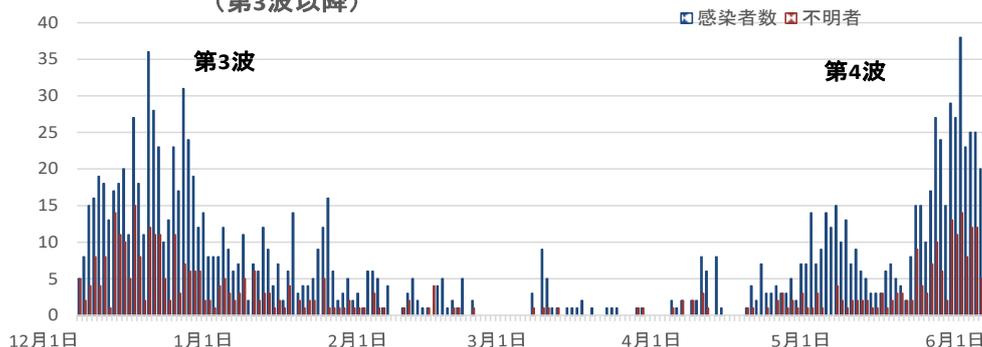


図5.高知県の患者数と感染経路不明者数  
(第3波以降)



## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

衛環研のCOVID-19流行による業務増大のため、感染症発生動向調査としての他ウイルス検出は実施していない。

### 1) インフルエンザ

報告数 0名(4月 0名)。2020-21年シーズンは、9月、2月、3月に各1名のみ報告で、ウイルスも検出されていない。統計がある1998年以降の23年間で「流行」がないのは初めてである。COVID-19に対する感染対策によってインフルエンザの流行が封じ込められたと推測される。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 41名(4月 30名)。平年なみの報告数である。幡多、須崎、中央西、高知市、中央東の順に多く報告された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 40名(4月 41名)。本年に入って、過去10年で同時期として最も少ない数で推移している。県下全域から報告があり、幡多、須崎から特に多かった。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 1,291名(4月 763名)。2020年3月以降は、同じ時期として過去10年で最少の報告数で推移していたが、4月は増加し平年並の数に、5月はさらに増加して過去10年で同時期としては2番目に多い報告数となった。きわめて感染力の強いノロウイルスの流行が主因と思われる。県下全域から警報値の20を超える報告があり、特に多いのは須崎、中央西、中央東、高知市である。

### 5) 水痘

報告数 10名（4月 15名）。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。須崎以外から報告された。

6) 手足口病

報告数 9名（4月 11名）。2020年は7月と10月にピークがあり二峰性であった。10月をピークとした流行が年を越えてだらだらと続いているが、流行規模は大きいものではない。高知市と中央東から報告された。

7) 伝染性紅斑

報告数 3名（4月 3名）。2020年9月以降は1けたの報告数である。高知市から3名報告された。

8) 突発性発疹

報告数 47名（4月 63名）。想定内の変動である。

9) ヘルパンギーナ

報告数 140名（4月 63名）。本来初夏の感染症だが、2020年は遅れて流行し10月にピークをつくり、その後だらだらと続いていた。5月になって増加し、同時期としては過去10年で最多で、早い流行を迎えたようである。安芸以外から報告があり、とくに多いのは幡多、中央東、高知市である。今回の流行ウイルスは未だ同定されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 2名（4月 6名）。少ない数で推移している。高知市から2例が報告された。

11) RSウイルス感染症

報告数 57名（4月 6名）。2020年は3月以降減少し、流行期であるにも関わらず11月から3月まで異例のゼロが続いていた。5月に大きく増加し、過去10年で同月としては最多となり、季節外れの流行である。高知市、中央西、安芸から表記の順に多く報告された。

12) 流行性角結膜炎

報告数 1名（4月 3名）。高知市で1名報告された。

13) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（4月 2名）。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年以降は6名/年以下で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は1例もなく、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（4月 1名）。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年2名、2021年も1名と少数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（4月 2名）。昨年11月以降は、同時期として過去10年間で最も少ない報告数が続いている。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 17名（4月 16名）。平年並みである。中央東、高知市、幡多から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（4月 0名）。2020年1月以降はゼロが続いている。

## 高知県における月別全数報告疾患（令和3年5月）

類型	病名	報告月					総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
2	結核	1	5	6	7	3	22
4	重症熱性血小板減少症候群		2			1	3
	日本紅斑熱			1	2	2	5
5	ウイルス性肝炎	1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1		1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		2	1	1	5
	梅毒	8	4	4	6	8	30
	破傷風	1					1
総計		14	12	13	18	15	72

## 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2021年

5月

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ										
小児科	咽頭結膜熱			5	7	5	4	20	41	30	13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	11	8	3	4	13	40	41	42	
	感染性胃腸炎	50	345	424	154	174	144	1,291	763	101	
	水痘	1	3	3	1		2	10	15	6	
	手足口病		3	6				9	11	20	
	伝染性紅斑			3				3	3	15	
	突発性発疹		3	23	7	5	9	47	63	43	
	ヘルパンギーナ		34	35	3	3	65	140	63	4	
	流行性耳下腺炎			2				2	6	7	
	RSウイルス感染症	2		48	7			57	6	1	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			1				1	3	1	
STD	性器クラミジア感染症			2				2	4	1	1
	性器ヘルペスウイルス感染症										1
	尖圭コンジローマ			1				1	1	1	
	淋菌感染症			1				1	2	1	
基幹	細菌性髄膜炎									2	
	無菌性髄膜炎									1	
	マイコプラズマ肺炎									2	14
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)										
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		3	13				1	17	16	17
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌 感染症										
計		54	407	577	180	190	256	1,664	1,028	288	
前月		21	244	477	154	36	96				
前年同月		16	52	127	18	13	62				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

# 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

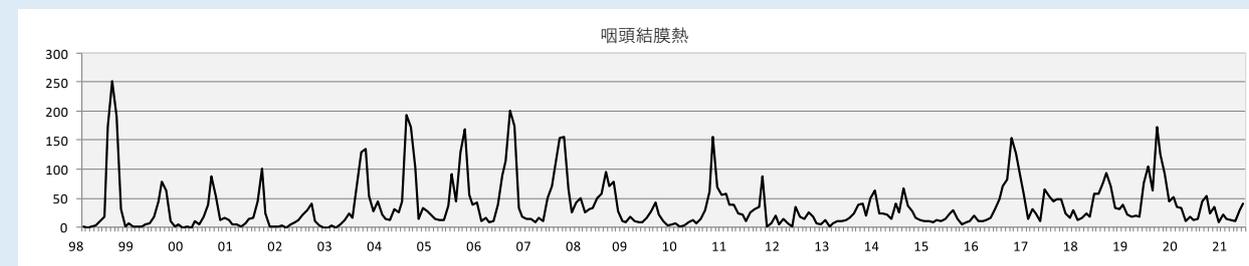
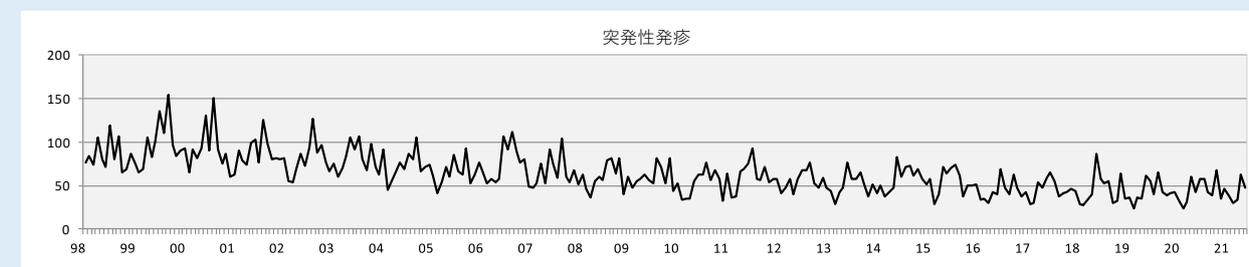
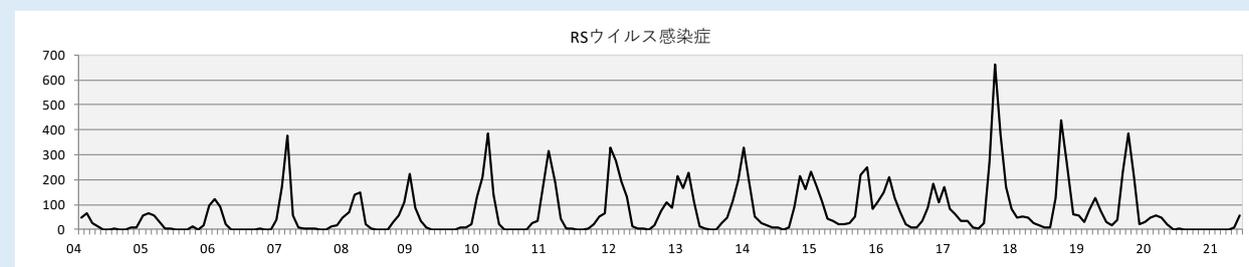
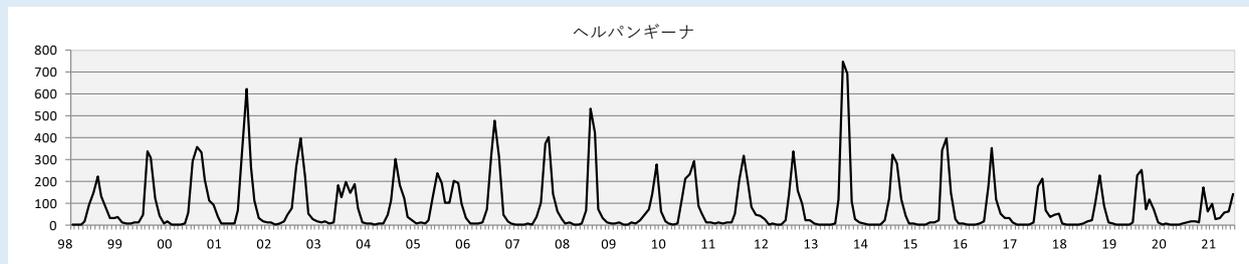
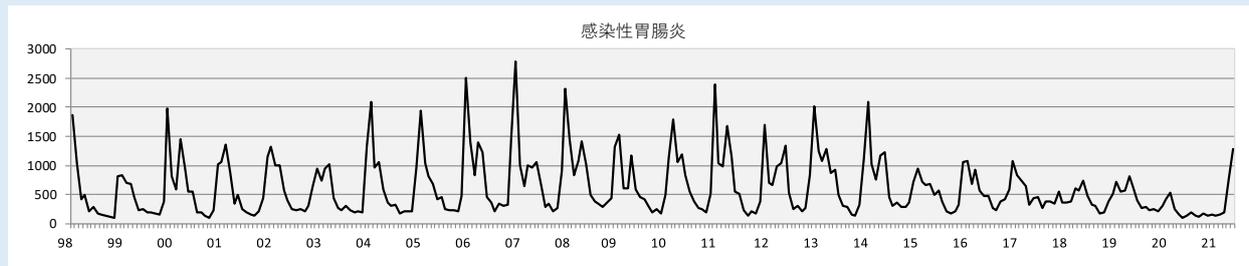
2021年

5月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ									
小児科	咽頭結膜熱		0.72	0.77	1.66	2.00	4.00	1.47	1.07	0.47
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.57	0.88	1.00	2.00	2.60	1.43	1.46	1.50
	感染性胃腸炎	25.00	49.29	47.11	51.33	87.00	28.80	46.10	27.25	3.61
	水痘	0.50	0.42	0.33	0.33		0.40	0.36	0.53	0.23
	手足口病		0.43	0.66				0.33	0.40	0.72
	伝染性紅斑			0.33				0.12	0.11	0.54
	突発性発疹		0.42	2.57	2.33	2.50	1.80	1.67	2.25	1.54
	ヘルパンギーナ		4.86	3.88	0.99	1.50	13.00	5.00	2.25	0.15
	流行性耳下腺炎			0.22				0.08	0.22	0.25
	RSウイルス感染症	1.00		5.32	2.33			2.03	0.22	0.04
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.99	0.33
STD	性器クラミジア感染症			1.00			1.00	0.67	0.17	0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									0.17
	尖圭コンジローマ			0.50				0.17		0.17
	淋菌感染症			0.50				0.17	0.33	0.17
基幹	細菌性髄膜炎								0.26	
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎								0.26	1.76
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3.00	2.60			1.00	2.13	2.00	2.13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		27.00	57.71	62.07	59.97	95.00	50.60	58.59	35.76	9.05
前月		10.50	34.14	50.85	51.32	18.00	18.60			
前年同月		7.00	6.85	11.31	5.99	6.50	11.40			

### 注目される疾患別月別推移



類型	病名	報告年																				総計					
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		2019	2020	2021		
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	22	1832		
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	22	1832		
3	コレラ	1					1						1												3		
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2					27		
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		207		
	腸チフス			1					1									1					1		4		
	パラチフス	2																							2		
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	243		
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2		34		
	E型肝炎												1		1							2	1		5		
	オウム病				1		1													1					3		
	Q熱	1	1	2				1																	5		
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	3	52	
	つつが虫病			9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	93		
	デング熱													1			3	2	1				2		9		
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	5	200		
	日本脳炎	1	1	1					1				1	1											6		
	マラリア								2						1								1		4		
	レジオネラ症			2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	81		
	レプトスピラ症												1		4	2	1					1			9		
		計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	8	501	
5	アメーバ赤痢			2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		47		
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3			1			2	1	1	2	1	61	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																		7	19	21	22	21	20	10	2	122
	急性弛緩性麻痺																					1	2			3	
	急性脳炎									1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1		21	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3					2			2	1	1	3		35	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1				1		1		1	3		1		3	5	6	2	2	3	31	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6			81	
	ジアルジア症		1	2	1								1		1	1						1				8	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																	1	5	3	4	7	3	1		24	
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	5	103	
	水痘（入院例に限る）																		2	1	1	3		3		10	
	髄膜炎菌性髄膜炎												1													1	
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	30	261		
	播種性クリプトコックス症																			1	3	5				9	
	破傷風			3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	36	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1									1						1		1	1				5	
百日咳																						173	172	35	380		
風しん											1	1			4	9	1				3				19		
麻疹												5													5		
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	42	1262		
新型	新型インフルエンザ																								34		
	計																								34		
動物	鳥インフルエンザ																								1		
	計																								1		
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	72	3873		